

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜本巣特別支援学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和6年6月12日(水) 13:30~15:30
- 3 開催場所 岐阜本巣特別支援学校 南館2階 図書室  
開催にあたり、授業参観、作業製品のミニ販売会を実施した。
- 4 参加者
- |     |         |                                       |
|-----|---------|---------------------------------------|
| 会長  | 森 久子    | 本巣市主任児童委員                             |
| 副会長 | 松本 和久   | 岐阜聖徳学園大学教授(欠席)                        |
| 委員  | 神山 弘彦   | 西秋沢自治会長                               |
|     | 西原 良子   | 岐阜障がい者就業・支援センター<br>雇用拡大支援員            |
|     | 牛丸 真児   | 瑞穂市社会福祉協議会<br>福祉総合相談センター主任相談支援専門員(欠席) |
|     | 波多野 加奈美 | 本巣市障害者基幹相談支援センター「えがお」<br>主任相談支援員      |
|     | 板倉 寿明   | 愛知淑徳大学講師                              |
|     | 清水 美典   | 希望が丘こども医療福祉センター相談支援専門員                |
|     | 神谷 国俊   | 本校PTA副会長                              |
|     | 名知 由利香  | 本校PTA副会長                              |
- 
- |     |        |       |        |          |
|-----|--------|-------|--------|----------|
| 学校側 | 神戸 茂   | 校長    | 新沢 幸美  | 事務部長     |
|     | 寺井 聡   | 教頭    | 松本 深香  | 教頭       |
|     | 栞原 正美  | 小学部主事 | 毛利 久美子 | 中学部主事    |
|     | 佐賀 あゆみ | 高等部主事 | 松原 智和  | 教務主任(欠席) |

## 5 会議の概要(協議事項)

- (1) 学校運営協議会の主旨について
- (2) 令和6年度 学校運営の基本方針について
- (3) 令和6年度 各学部経営の重点について
- (4) 昨年度の意見を受けた取組みについて
- (5) 学校と地域、関係諸機関との連携について

○令和5年度進路概況、進路支援計画、事業所を知る会について

○作業製品価格検討について

- ・提案のとおり製品の価格の設定、変更、廃止について承認を得た。

意見1 : 原材料費が下がったための価格変更とのことであるが、価格が変更になった理由

について生徒にしっかりと説明をするとよい。

⇒価格の設定の根拠や変更の根拠を明確にし、生徒自身が理解し考えることができるように指導する。

- 意見 2 : コロナ後、途絶えたつながりを復活するため、地元として協力したい。地域に取組みを紹介する懸け橋になればよい。
- 意見 3 : もとまるパークや新しくなった本巢市役所等を学習の場として活用してはどうか。
- 意見 4 : 就労、進路について、実習先の情報など協力したい。岐阜市の出前講座、まなバンクなどを活用してはどうか。
- 意見 5 : 保護者も様々な仕事をしている。多方面の専門家もいるのではないかな。  
⇒(意見 2～5にかかわって)教科や生活単元学習等の系統性を大切にしながら、ねらいにあわせて、保護者や地域の資源を活用していきたい。
- 意見 6 : 児童生徒が楽しそうに授業に向かっている姿から、一人一人を認めて授業をしていることがわかり安心した。温かい雰囲気職員が努力が伝わってくる。
- 意見 7 : 校内作業実習の様子を見学できてよかった。生徒が、生き生きと一生懸命、丁寧に作業を行っていた。生徒一人一人に合った作業内容を工夫し、生きていくための力を付ける授業を行っているのがよくわかった。
- 意見 8 : 地域の相談者から、本校に転校したいとか、学校見学会に参加してよかった、といった声を聞くことがある。今後もさらに地域に期待に応えられる学校になってほしい。
- 意見 9 : 卒業生が、職場に来た本校の生徒を見て「自分の後輩です。」と上司や同僚に紹介する姿があった。卒業生が、本校を卒業したことを誇りに思って生活できているということである。そのような生徒をたくさん出す学校になってほしい。
- 意見 10 : 地域の理解を深めるためには、発信の仕方や広告の仕方が大切である。市町の広報に記事を書いてもらうなどしてはどうか。児童生徒のことを知ってもらうことで、理解が深まり共生できることを実感してもらえらる。
- 意見 11 : 校内で出会う児童生徒は、積極的に挨拶をする。また、児童生徒がよく「ありがとう」と言っているのを目にする。すばらしいことである。

## 6 会議のまとめ

- ・第1回学校運営協議会では、出席した8名の全委員より、今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針や重点的な取組みについて承認が得られた。
- ・作業製品の価格やメニュー変更について承認が得られた。
- ・小学部の授業、中学部の委員会活動、高等部の校内作業実習や就業体験の取組みの見学や、作業製品の紹介やミニ販売会を通して、本校の児童生徒の様子や教育内容について理解を得られたとともに、地域資源の活用について、様々なアイデアや情報の提供を受けた。今回得た意見やアイデア、助言等を職員会議などで職員に周知するなどして、今後の学校運営に生かしていきたい。